

コミュニティバスと高齢者福祉

—東京都狛江市での調査による考察—

[自発展開型]

中村 仁（経済学部3年）

指導教員：長田進

1. 研究の目的

2005年から日本の人口は減少に転じ、急速な少子高齢化が進行している。高齢社会の到来を迎え、それに対応した環境整備が求められている。とりわけ高齢者の移動手段は重要な論点である。高齢者の加齢に伴う身体機能低下は不可避であり、既存の交通システムの下では十分にモビリティが確保できているとは言い難い。例えば鉄道を中心に密集した公共交通網を有している都市部であっても、居住地から最寄りの駅・バス停までの歩行環境や距離、もしくは車両等の設備が高齢者へ過度の負担を課しており外出の阻害要因となっている可能性は十分に考えられる。地方ではモータリゼーションが進行しており、自家用車のアクセスを持たない高齢者の移動手段は大幅な制約を強いられている。また、高齢者の自動車運転はその身体機能や運転特性から事故につながりやすく、交通安全の観点から望ましいとは言えない。これらの現状を踏まえ、既存の交通システムで充足できない高齢者の移動需要を満たし、社会参画を促す手段が必要と考えられる。高齢者の社会参画は生活能力や心身機能の維持増進にもつながるため、社会活性化に加え福祉的観点からも推奨されている。

本稿では、コミュニティバスを高齢者の移動需要を満たす手段として捉え、その活用可能性について分析評価を試みる。コミュニティバスとは、1995年運行開始の武蔵野市「ムーバス」を嚆矢に全国的に広まった既存の路線バスを補完する新しい公共交通である。多くの事例において自治体が計画運営に参画しており福祉政策との連携が可能である点で注目に値する施策である。

全国各地でコミュニティバス導入が進む中で、個別の事例について運行経路や財政負担の妥当性を評価する研究も蓄積されてきた。同時に、導入プロセスや運行形態を自治体間で比較する研究も広がっている。本稿はこれらの先行研究の視点を交えつつ、検証・評価の蓄積が乏しい事例に関して分析を加え

てコミュニティバスに関する一連の研究に厚みを持たせることを目的としている。具体的には、2008年11月に運行を開始した東京都狛江市の「こまバス」について財政負担の妥当性や効率性、利用者への福祉・交通安全面での配慮の視点から評価を行っている。狛江市が属する三多摩地域は、「ムーバス」を運行している武蔵野市や、1980年代から市民の移動手段確保を目的に自治体がバスを運行してきた武蔵村山市などコミュニティバスの先駆的事例を有し、その波及効果もありほとんどの自治体で2000年代初頭までにコミュニティバスを整備していた。しかし、狛江市は三多摩地域にありながらコミュニティバスの運行開始が2008年と遅く、加えて公共施設利用者を対象としていた福祉バスからの移行という他と異なる導入プロセスを持つ。

2. 研究手法と成果

本稿では筆者が行った実地調査と、運行開始後1年の経過を受けて狛江市が実施したアンケート調査や利用実態調査を基に「こまバス」の評価を行っている。実地調査は、「こまバス」利用者の利便性と安全性に関する分析のため、各停車施設の設備や周辺環境についての現状確認を目的に実施した。この結果は先行研究を基に点数化し、他自治体運行のコミュニティバスと比較している。

今回実施した評価分析はコミュニティバスに関係する数多くの要素のうちごく一部を抽出して行ったものに過ぎないが、本稿では他の要素も含めた「こまバス」の運行評価の結果として以下の3点を明らかにした。

- (1)福祉バスからの移行前と比較して多くの利用者を集めており、その財政負担は他の公共施設運営経費と比べ小さい。
- (2)市内各地を網羅し交通空白地域の解消に効果を発揮しているが、特に南北間の移動手段として最適であるとはいえない。
- (3)停車施設の安全性や利便性が十分であるとは言えず、今後の改良が望まれる。

3. 本文の構成

結論導出に至る本稿各章の流れは以下の通りである。まず1章では高齢者の移動に関する先行研究をまとめ、同時に過去の自治体の公共交通への関与の在り方を整理している。続いて2章においてコミュ

ニティバスの概念を提示し、その特色について先駆例である武蔵野市の「ムーバス」を中心にまとめた。加えて武蔵野市周辺、つまり三多摩地域と東京都特別区のコミュニティバスについて導入時期や運賃設定など比較を行った。その中で、導入時期に特徴を持ち、福祉バスからの移行という他自治体と異なる背景を有している狛江市「こまバス」に注目し3章ではその評価を行っている。3章では、他の行政サービスと比較した税負担額や路線バスと比較しての運行ルートの効率性、交通空白地域解消等の目的の達成度、停車施設の安全性の各項目から評価を行っている。